



H18.9.8 1208
静岡県漁業協同組合連合会
☎054-254-6011 Fax054-253-9343
編集・発行 = 指導部 漁政課
URL: <http://www.jf-net.ne.jp/sogyoren/>

1. 南伊豆町漁協青壮年部が水産教室を開催 神子元島へ上陸

南伊豆町漁協青壮年部では8月22日、海での体験を通じて地元の漁業に関心を深めてもらうことを目的として、小稲漁港を中心会場に町内の小学5・6年生54名が参加し、水産教室を開催しました。

まず始めに、児童全員によるスルメイカの干物加工が行われ、講師役の漁協青壮年部員が開き方を指導した後、子ども達も1人3杯のイカと悪戦苦闘しながら干物作りに挑戦しました。

この後、事前に希望をとっていた3コース(無人島上陸 沖でのイサキ釣り 下流港でのシュノーケリング)に分かれ、それぞれ水産業や漁村が持つ多面的機能を積極的に活用した体験を楽しみました。無人島上陸では、普段は上陸禁止の神子元島へ下田海上保安部の協力のもと、児童15名が上陸を果たしました。上陸した児童は、同保安部長から灯台が伊豆石で造られていることや、光源として初めは植物油を燃やしたことなど、説明を興味深く聞き入っていました。

2. 水産物の市況について(平成18年8月及び9月)を公表

水産庁ではこのほど、東京都中央卸売市場における平成18年8月(7月21日～8月20日集計)の市況と、平成18年9月の市況見通し(前月との比較)を次のとおり発表しました。

平成18年8月の全体市況 = 東京都中央卸売市場における総入荷量(水産物の生鮮品、冷凍品、加工品の合計)は、前月と比べやや減少となり、卸売価格(水産物全体の1^{kg}当たり平均価格)は弱含みに推移しました。

平成18年9月の主要品目の市況見通し = 「まいわし(生鮮品)」: 入荷量は前月よりやや減少すると見込まれ、卸売価格はやや弱含みに推移すると見込まれます。(主漁場は、常磐沿岸、犬吠埼沿岸、四国、九州沿岸で、魚体は中羽主体) 「さば(生鮮品)」: 入荷量は前月よりやや増加すると見込まれるものの、卸売価格は秋サバのシーズンに入り、成長による品質向上が進むことからやや強含みに推移すると見込まれます。(主漁場は三陸～常磐～鹿島灘沿岸、駿河湾～伊豆諸島周辺、五島周辺海域) 「あじ(生鮮品)」: 入荷量は前月と変わらず横ばいと見込まれ、卸売価格も横ばいに推移すると見込まれます。(主漁場は山陰沿岸、九州西沖、房総沿岸) 「まぐろ(冷凍品)」: 入荷量は前月よりやや減少すると見込まれるものの、卸売価格は既に高値圏にあることから横ばいに推移すると見込まれます。 「かつお(生鮮品)」: 入荷量はやや減少すると見込まれ、卸売価格は需要が一巡したことからやや弱含みに推移すると見込まれます。(産地での釣り、まき網とも好漁)

3. 食用魚の43%が養殖物 = FAO報告

国連食糧農業機関(FAO)が9月4日発表した報告書によると、世界で食べられている魚のうち、養殖物の比率が43%に達していることが明らかになりました。

安全・安心な水産物供給と活力ある漁業づくりに努めよう

自立漁協の構築に向け合併・事業統合を進めよう

同報告書によると、食用養殖魚の消費量は年間4,550万トンで、これに対し、天然物の漁獲高は年間9,500万トンで、このうち6,000万トンが食用です。

報告書は、天然物の漁獲高が80年代半ば以降ほぼ横ばいとなり、大幅に増える可能性は低いと指摘し、今後世界的な消費増が見込まれる中、養殖による食用魚増産が選択肢だと分析しています。

4. アサリの産地を微量元素で識別

水産総合研究センターでは、アサリが国内産か海外産であるかを遺伝子解析し、最短2時間で識別できる新技術を開発しました。

新技術は、国内産と輸入アサリ(中国産、韓国南岸産)のDNAの解析と、それぞれの塩基配列の違いを精査しました。その結果、中国産は2系統、韓国南岸産は1系統に整理されることを明らかにし、それぞれのデータベースを作成しました。これにより、系統の分からない輸入アサリについても、DNAの塩基配列解析を行いデータベースと照合することで、その産地の判別が可能となりました。更にPCR(ポリメラーゼ連鎖反応)法という調べたい遺伝子だけを増幅させる手法などを使うと、国内産と遺伝的な差が大きい中国産、韓国南岸産なら2時間程度で判別できるようになりました。

国内産のアサリが減少し、海外でとれたアサリを国内産と偽って販売するケースがありますが、食の安心・安全の観点から新技術は産地偽装の摘発に効果が期待されます。

5. 「第41回静岡県海の子の作品展」作品募集中 締切迫る

本会並びに県信漁連では、漁村の次代を担う海の子を対象に「豊かな海」と「漁業」について理解を深め、漁業に夢をもった子供たちを育てることを目的に、各漁業協同組合が主催する「海の子の作品展」と連携して「静岡県海の子の作品展」を開催していますので奮ってご応募下さい。

応募作品: 絵画 題材 = 海または漁業・海的环境保全・資源管理等に関する作品(「港」「魚市場」「漁業に携わる人々」「海浜清掃」等) 応募資格: 小学生および中学生 募集締切: 9月30日 送付方法: 各漁業協同組合経由 送付先・問合せ先: 県信漁連本所総務部 〒420-8644静岡市葵区追手町9-18 TEL: 054-273-4414

6. 新刊図書紹介 「魚の心をさぐる - 魚の心理と行動 -」 益田玲爾著

成山堂書店では、平成15年に日本水産学会で奨励賞を受賞した、益田玲爾(京都大学フィールド科学教育研究センター舞鶴水産実験所助教授)が自身のこれまで研究してきた魚類心理学の一端をまとめた「魚の心をさぐる - 魚の心理と行動 -」を発行しました。

本書は、1章の「潜ってから考える」、2章の「魚の群れの発達心理学」、3章の「魚の心と栽培漁業」、4章の「魚の学習能力」、5章の「魚の心から海の資源の未来をうらなう」、6章の「魚を学び魚に学ぶ」構成となっています。魚は何を思い、何を感じて行動しているのか。群れをつくる仕組みは? 学習能力は? などさまざまな疑問の解明に、魚類心理学という新しい研究分野から挑み、魚の行動や生態に関する研究を紹介しています。

価格: 1,600円(税別) 単行本144頁 発行先: 成山堂書店 TEL: 03-3357-5861
- 訂正 - 本紙 1207(9/1)掲載の諸会議・日程のお知らせの中で、9月15日(金)第5回天草入札会は、9月13日(水)第6回天草入札会の誤りですのでお詫びして訂正します。

漁協系統事業の全利用運動を進め組織の強化を図ろう